

# External Supplier Control Obligations

データ管理

管理エリア	管理対象	管理内容	本件が重要である理由
メタデータ管理	重要なデータ要素の特定	サプライヤー/下請業者は、「付録A-CDEおよびデータ品質次元の定義」に定義されている重要データ要素（「CDE」）を参考にし、作成中の重要データ（Barclaysが重要とみなすデータを含む）を特定し、Barclaysに通知しなければなりません。	この管理は、Barclays全体でデータを効果的に管理、利用するために、重要なデータ要素（CDE）を特定し、関連のビジネスメタデータを定義するために必要となります。重要なのは、サプライヤー/下請業者とBarclaysがこれらのCDEを、該当する場合に共同で特定できることです。
管理エリア	管理対象	管理内容	本件が重要である理由
データリネージ	データリネージをキャプチャして、ソースからターゲットまでのデータ品質管理を確立する	サプライヤー/下請業者は、ソースからターゲットまでのリネージを把握し、適切なデータ品質管理を確立できるようにデータのフロントからバックまでの流れを理解する必要があります。	データに必要な適切な管理を特定するために、サプライヤー/下請業者はデータの送信元と送信先を理解する必要があります。
管理エリア	管理対象	管理内容	本件が重要である理由
データ品質	データ品質管理 / 対策の枠組み文書  データ品質の次元適用度	データ品質管理とその有効性を監視する手段は、適切な粒度で定義し、文書化し、実行しなければなりません。管理および対策が機能する枠組みは、文書化し、年に1度は見直さなければなりません。  サプライヤー/下請業者の組織内で認められているデータ所有者が、予防および/または監査データ品質管理/測定を定義、承認し、適切に実施する必要があります。管理にあたっては、必要に応じて、以下に挙げる1つまたは複数の観点からデータ品質を考慮しなければなりません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 完成度</li> <li>• 整合性</li> <li>• 正確性</li> <li>• 即時性</li> </ul>	これらの要件が満たされない場合、Barclaysが要求される品質を満たさないデータを取り込み、または配布する結果となる可能性があり、その結果、法律上および規制上の制裁、風評被害、ビジネスの損失/中断につながる可能性があります。

	<p>データ品質管理 / 対策の報告と是正措置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 重複 (一意性)</li> <li>• 適合性</li> <li>• 適用度</li> </ul> <p>各CDEは、完成度、即時性、正確性のそれぞれについて、少なくとも1つの管理を実施する必要があります。 前述の次元の定義については、「付録A-CDEおよびデータ品質次元の定義」を参照してください。</p> <p>データ品質管理 / 対策は、監視、報告、統制されなければなりません。 Barclaysに関するサービス/データに影響を与える例外はすべて問題として扱い、例外は是正計画とともにBarclaysに妥当な時間内に直ちに報告しなければなりません。是正計画では、サプライヤーの統制構造に従って是正の進捗状況が追跡されます。</p>	
<p>参照データ</p>	<p>業界標準参照データを活用</p>	<p>Barclaysにデータを提供する場合、サプライヤー/下請業者は、参照データが (1) 認可された国際標準 (この場合、その標準はBarclaysが書面で合意している必要があります) からのものであるか、または (2) 事前に承認された以下のリストから取得されている場合を除き、標準化された参照データと分類のソースについてBarclaysと合意する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ISO 3166 国コード</li> <li>• ISO 4217 通貨コード</li> <li>• 経済活動の英国の標準産業分類 (UKSIC)</li> <li>• 標準産業分類 (SIC)</li> <li>• 北米産業分類 (NAICS)</li> <li>• 欧州共同体経済活動統計分類 (NACE)</li> <li>• 地域統計分類単位 (NUTS)</li> <li>• 国際銀行間通信協会 (Swift)</li> <li>• 航空交通機関 (ATO)</li> </ul> <p>ISO10383市場識別コード (MIC)</p>	<p>内部でホストされているか外部でホストされているかにかかわらず、すべてのBarclaysデータの標準化と一貫性を向上させるため。</p>

管理エリア	管理対象	管理内容	本件が重要である理由
データアーキテクチャ	データの整合性維持	サプライヤー/下請業者がBarclaysに代わってデータを保有する場合（Barclaysから提供されるか、Barclaysに提供されるかを問わない）、サプライヤー/下請業者は、当該データを損失や破損から保護し、合意した頻度（少なくとも月1回）でデータを整合して、時間が経過しても正確性と完全性が維持されることを確認する必要があります。	データの正確性と完全性を時間の経過後も維持するため。
	整合性管理情報	サプライヤー/下請業者がBarclaysにデータを提供している場合、サプライヤー/下請業者は、Barclaysが当該データの受領時にその整合性を確認できるように、管理情報を提供する必要があります。	受領するデータの正確性と完全性を確保するため。
	外部でホストされたデータの利用	サプライヤー/下請業者は、規制、リスクまたは業務分析に対応するため、Barclaysのために保持または保管しているデータを、Barclaysの環境に合わせ用意しておく必要があります。	適用されるBarclaysの契約に定められたSLAの範囲内で、規制やリスクの影響等を特定するために、データはBarclaysが利用できるようにしておく必要があります。
	既知の時点への復旧	サプライヤー/下請業者は、提供するサービスが正確で一貫したデータを持つ既知の時点まで復旧できるように確実に設計する必要があります。	データの整合性を維持し、復旧プロセスにおいて障害シナリオが復元されないことを確保するためです。復旧時点目標では一定のデータ損失が許容されることが認められていますが、データの観点からは、データは常に復旧される必要があります。

管理エリア	管理対象	管理内容	本件が重要である理由
権威あるデータソース	信頼できるソース評価のためのサプライヤー/下請業者の支援活動	<p>サプライヤー/下請業者が提供し、Barclaysが管理するアプリケーションに関して、サプライヤー/下請業者は「信頼できるソース評価」に関わるBarclaysの活動をサポートしなければなりません。</p> <p>Barclaysが管理していないサードパーティのアプリケーションは、信頼できるソース評価の対象外ですが、サプライヤー/下請業者はそれ以外のサプライヤー管理義務に従い、そのようなアプリケーションが信頼できるデータソースとして信用に値するものである必要があります。</p>	このような信頼できるデータソース（ADS）とその提供のためのルールを特定し確立することが重要です。サプライヤー/下請業者は、信頼できるデータソースを評価する必要があります。

## CDEおよびデータ品質次元の定義

### 重要なデータ要素

Barclaysにとって重要だとBarclaysによって定義され、明確な目的と意義を有し、データ管理基準の対象であり、以下を含む概念上のデータ単位。

- 重要なデータ要素の名称、定義、所有権
- 個人データ
- 規制フラグ（該当する場合）
- 権威あるデータソース
- メタデータコンテンツの管理、統合、公開の手順

### サードパーティが管理する/管理しないアプリケーションの定義

Barclaysが管理する第三者のアプリケーションベンダーが開発および/またはホストし、Barclaysが管理するデータ（Barclays Internal System-ServiceFirstというエントリーを有している）

Barclaysが管理する第三者のアプリケーションベンダーが開発、ホスト、および管理するデータ（Barclays Internal System ServiceFirstにエントリーがない場合がある）

定義		
CDEおよびデータ品質次元の定義	正確性	データが特定の時点における現実を正確に反映している度合い
	完成度	必須フィールドにデータが入力されている度合い（フィールドに値が取得されていない場合、または値が必要なときにNULLである場合は、データセットが不完全であるということになります）
	適合性	許容される参照データ値形式と使用など、重要データ要素に対して設定されたデータ品質基準にデータが適合する程度
	整合性	1つのデータセット内のデータが別のデータセット内のデータと同じである程度
	適用度	データセットがその意図された目的のためにデータの正しい範囲を含む程度
	重複（一意性）	特定のデータセット内に複数回存在する重要データ要素が存在する程度
	即時性	合意されたタイムスケール内でデータが提供されている度合い、およびデータがその使用要件に従って更新されている程度
	データ品質管理	データ品質の例外を特定、防止、または軽減するために、システムまたはプロセスを通じてDQルールを実行する操作。この操作は自動でも手動でも実行できます。
	データ品質の測定	データ品質測定は、データが目的に適合しているかどうかの判断に使用される、1つまたは複数のデータ品質次元および/または事前定義されたターゲットに対する定量的な指標です。